

令和2年度 一般会計当初予算

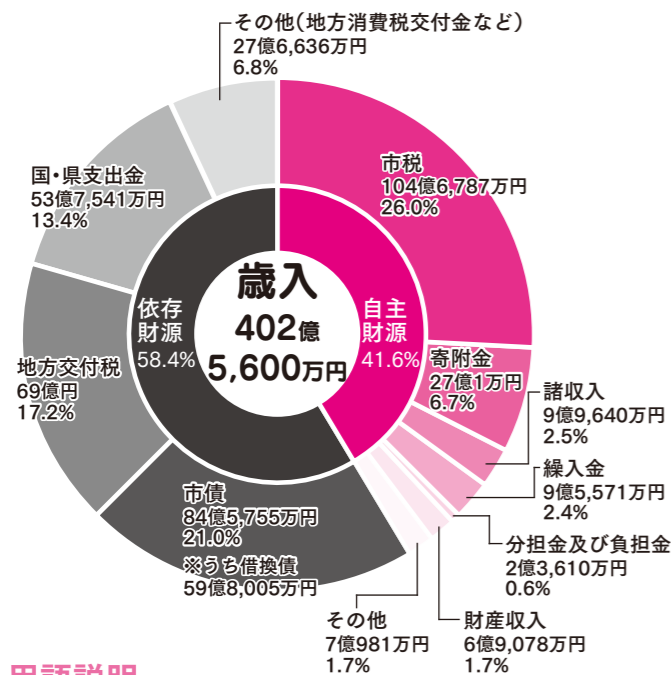
402億5,600万円 (前年度比1.2%減)

詳しくは、
市ホームページを
ご覧ください

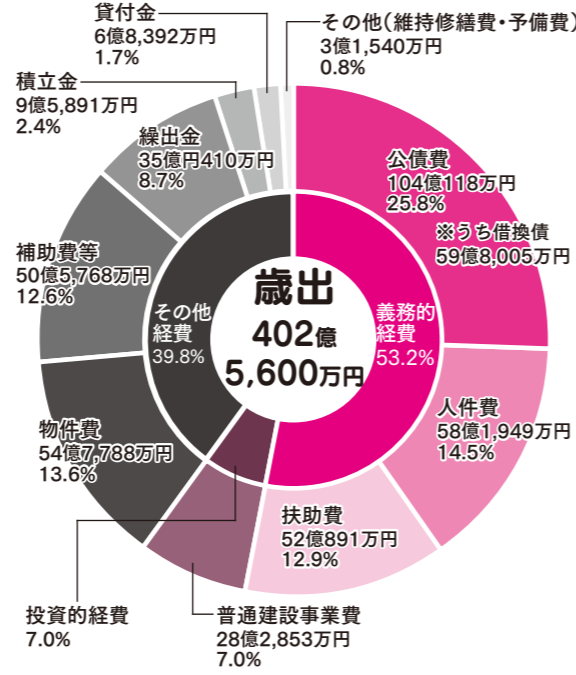


一般会計当初予算の総額は、402億5,600万円です。借換債を除く実質的な予算額は、令和元年度比21億6,490万円増の342億7,595万円です。直近10年間では5番目の規模となっています。なお、経済対策等国の補正予算による繰越事業5億27万円を合わせた執行ベースの予算規模は347億7,622万円となっています。

歳入の状況



歳出の状況 (性質別分類)



用語説明

自主財源…市が自ら徴収または収納できる財源
 依存財源…国または県などから収入される財源
 義務的経費…支出することが義務付けられている経費
 投資的経費…社会資本の整備に要する経費
 借換債…すでに発行した市債を現行の利率のものに借り換えるために、借入額と返済額を歳入歳出同額で予算計上

当初予算内訳

会計	予算額	前年比増減率
一般会計 (①+②)	402億5,600万円	△1.2%
借換債①	59億8,005万円	△30.7%
実質的な予算規模②	342億7,595万円	6.7%
特別会計	170億2,410万円	2.0%
国民健康保険	72億2,712万円	2.1%
後期高齢者医療	9億4,191万円	10.1%
介護保険事業	87億8,484万円	1.2%
土地取得	7,023万円	0.1%
総額	572億8,010万円	△0.3%

公共下水道事業特別会計は、令和2年度から公営企業会計(下水道事業会計)に移るため、特別会計全体の比較では除外しています。

一般会計当初予算の推移 (借換債を含む)

平成27年度	378億4,500万円
平成28年度	386億1,400万円
平成29年度	382億1,100万円
平成30年度	397億8,000万円
令和元年度	407億4,400万円
令和2年度	402億5,600万円

令和2年度 施政方針



3月2日、市議会定例会で市長が施政方針演説を行いました。その中から、当初予算額や重点施策などポイントを絞ってお知らせします。

施政方針全文はこちら



長年の取り組みが実を結ぶ
 昨年は、平成から令和となり新たな時代を迎えました。一年を振り返りますと、長年取り組んできたことが花を咲かせ、実を結んだ案件が幾つもありました。
 足掛け7年の取り組みが実り、東京2020オリンピック・パラリンピックの選手村の食堂で燕市の金属カトラリーが使用されることが決定しました。
 また、国道116号吉田バイパスについても、長年の粘り強い要望活動の結果、関係各位の多大なるご協力もあり、昨年末、ついに都市計画決定に至りました。
 この他にも、国道289号燕北バイパス朝日大橋の完成、大津分水に会場を移した燕さくらマラソン大会が大成、ゴールデンウィーク前にリニューアルオープンした産業史料館も順調に入館者数を増やしています。

また、弥彦村と共同で進めてきた水道事業広域化の取り組みが、日本水道協会の水道イノベーション賞を受賞する
 長年の取り組みが実を結ぶ
 昨年は、平成から令和となり新たな時代を迎えました。一年を振り返りますと、長年取り組んできたことが花を咲かせ、実を結んだ案件が幾つもありました。
 足掛け7年の取り組みが実り、東京2020オリンピック・パラリンピックの選手村の食堂で燕市の金属カトラリーが使用されることが決定しました。
 また、国道116号吉田バイパスについても、長年の粘り強い要望活動の結果、関係各位の多大なるご協力もあり、昨年末、ついに都市計画決定に至りました。
 この他にも、国道289号燕北バイパス朝日大橋の完成、大津分水に会場を移した燕さくらマラソン大会が大成、ゴールデンウィーク前にリニューアルオープンした産業史料館も順調に入館者数を増やしています。

令和2年度は第2次燕市総合計画の5年目を迎えます。計画の折り返し点を過ぎ、目標達成に向けて重点施策を着実に推進する大切な年となります。
 昨年、総合計画の中間評価を行いました。その結果「活動人口」や「交流・応援(燕)人口」は順調に増加しているものの、最も重要な「定住人口」については、我々が想定した以上に減少が進んでおり、特に子どもの産まれる数(出生数)の減少が著しい状況にあることが明らかになりました。
 施策の達成状況を表す個別指標でも、「定住人口増戦略」の6割で中間目標値を達成することができませんでした。このため、最終的な目標の達成に向けて、さらなる施策の拡充・強化を図るべく総合計画の見直しを行ったところがあります。

① 出生数の減少幅を抑制するための子育て支援策の拡充・強化

↓

働きながら子育てしやすいものづくりのまちを目指します

② 人生100年時代を見据えた健康づくり・重症化予防・介護予防の一体的推進

↓

人生100年時代の健康づくりを進めます

③ 若者や移住者がまちづくりに参加し始め、高度外国人材の雇用が進みつつあるという新しい風を捉えた地域活性化策の展開

↓

「天上新風」新しい風を捉えた地域の活性化を進めます

◎詳しくは4～7ページをご覧ください。